

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第10週 （3月7日～3月13日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は、第9週の49.42から第10週では40.50と減少していますが、高知県全域で4週連続警報値である30.0を超えており、引き続き注意が必要です。中央東で増加し、県全域及び中央東、高知市、中央西、幡多で警報値を超え、須崎、安芸では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型32%、B型68%となっており、B型の報告が増加しています。

インフルエンザ警報継続中！

引き続き、手洗い、咳エチケットに心がけて下さい。普段から咳やくしゃみを他の人に向けて発しない。咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをする。手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等が大切です。十分な休養、バランスの良い食事を取り体力や抵抗力を高めましょう。

学校等における集団発生		※感染症情報収集システム					
保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第10週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	2	1	0	1
学年閉鎖	第10週	0	3	1	2	2	0
	累計	3	4	4	8	14	9
学級閉鎖	第10週	0	3	6	0	1	1
	累計	0	6	47	2	3	4

病原体検出情報では Influenza virus A H1pdm09 2例、Influenza virus B 2例が検出されています。

※厚生労働省インフルエンザ 総合対策（外部サイトへリンク）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index.html

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第9週の6.00から第10週では7.23と増加しています。幡多以外で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルスが83例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が23例報告されるなど、ロタウイルスの報告が増加しています。

病原体検出情報では、Rotavirus group A G2 1例が検出されています。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、ロタウイルスによる非常に感染力の強い病気で、免疫のない小児では6か月～2歳くらいまでに必ずと言っていいほど経験する病気です。水のような多量の下痢便が特徴で、便の色も白っぽくなることから、白色便性下痢とも言われます。激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症、小児仮性コレラ、白痢などとも呼ばれています。合併症としては、脱水症があり、脱水の程度や臨床的重症度は他のウイルス性胃腸炎より重いことが多く、主に4～23か月児に重度の脱水症がみられることがあります。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。

衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬ではあまり効き目がありません。

これらの対策を行ってもロタウイルスは感染力が非常に強いので、感染を完全に予防することは困難です。日本では、ロタウイルスのワクチンを任意で接種を受けることができます。詳細については、かかりつけの医療機関にご相談ください。

●厚生労働省 感染性胃腸炎（特にロタウイルス）について

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/top.html>

●厚生労働省 ロタウイルスに関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第9週の2.87から第10週では2.60とほぼ横ばいですが、中央西、須崎で増加し、高知市では注意報値を超えています。

予防としては、手洗い、うがいやマスクの着用等が有効です。

○ダニが媒介する感染症に気を付けて！

野山に生息するマダニに刺されることで感染症（日本紅斑熱、SFTS等）を起こすことがあります。すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。暖かくなりダニの活動が活発になる季節となりましたので、次のことに注意して下さい。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

- ・肌をできるだけ出さないよう、長袖、長ズボン、手袋などをしましょう。
- ・DEET（ディート）などの有効成分が含まれた虫除け剤を使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
- ・地面には直接寝転んだり、腰を下ろしたりせず、敷物を敷きましょう。
- ・野山などに行った後はすぐに入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ・野山や河川から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

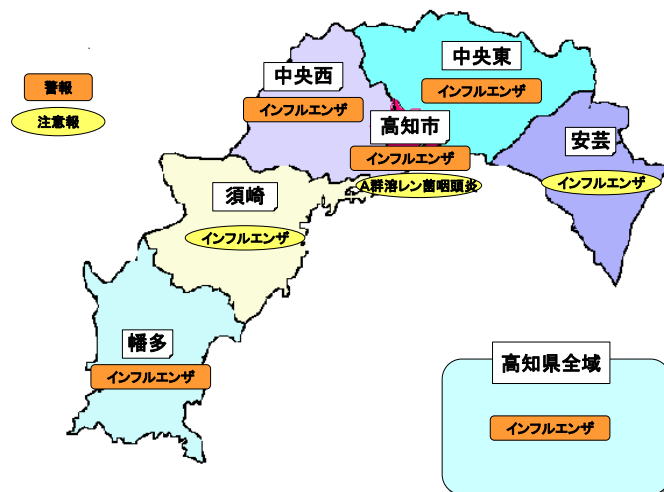
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
10週（3月7日～3月13日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	40.50	中央東で増加し、県全域及び中央東、高知市、中央西、幡多では警報値を超え、須崎、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↗	7.23	幡多以外で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.60	中央西、須崎で増加し、高知市では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↘	0.80	高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎	↘	0.40	中央西で増加しています。

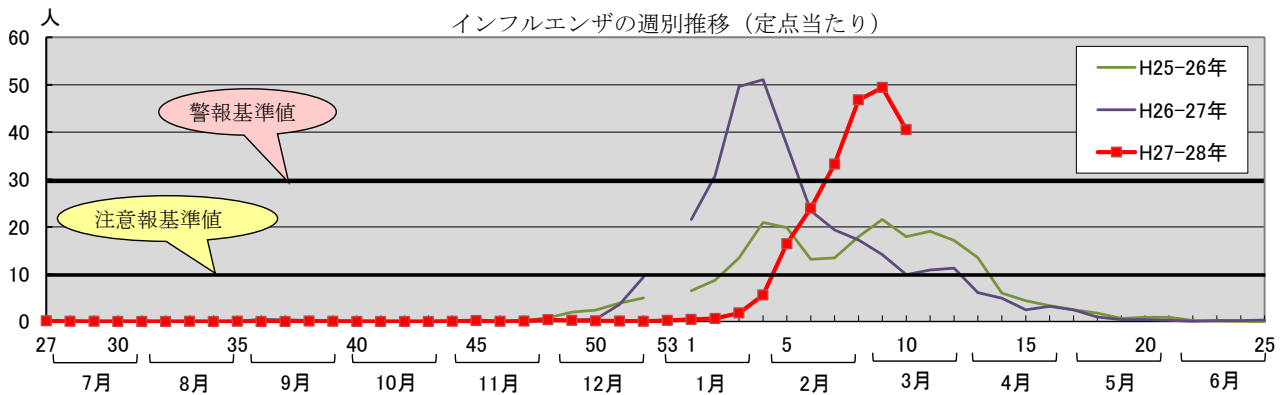
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

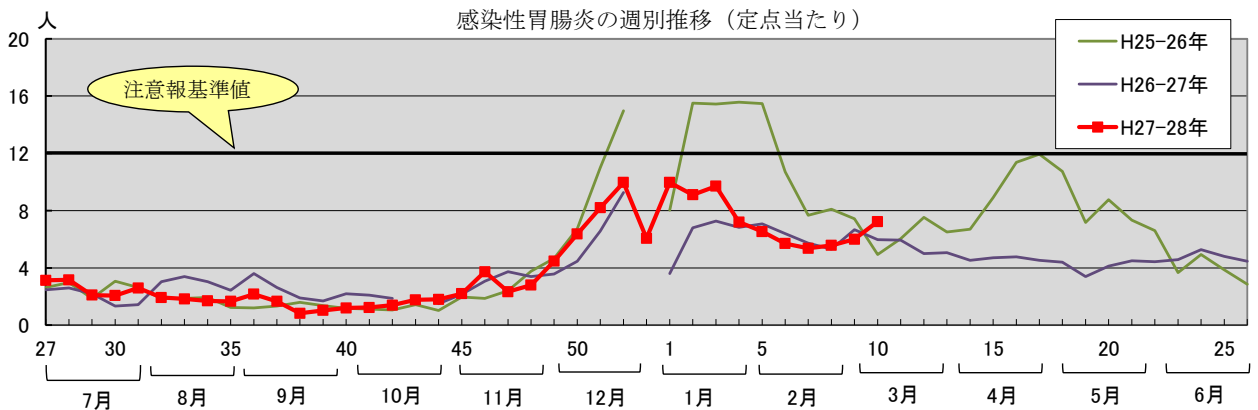
○インフルエンザ 第10週：40.50（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり40.50（前週49.42）と減少しています。地域別にみると、中央東50.55（前週48.45）で増加しています。また、県全域及び中央東、高知市、中央西、幡多では警報値を超え、須崎、安芸では注意報値を超えています。



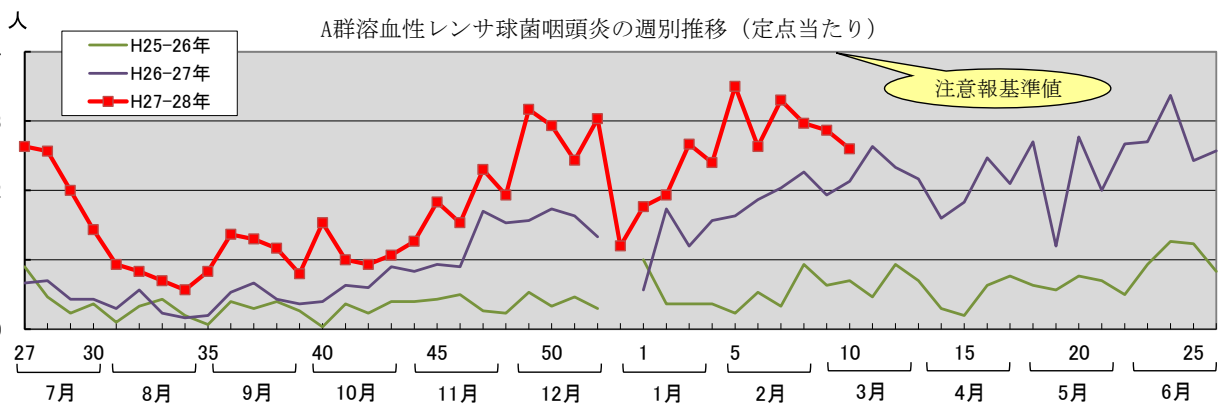
○感染性胃腸炎 第10週：7.23（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり7.23（前週6.00）と増加しています。地域別にみると、中央東11.86（前週8.43）、須崎10.50（前週7.50）、高知市7.18（前週5.91）、中央西4.33（前週4.00）、安芸2.50（前週2.00）で増加しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第10週：2.60（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.60（前週2.87）とほぼ横ばいです。地域別にみると、中央西2.33（前週1.67）、須崎1.00（前週0.50）で増加し、高知市では注意報値を超えています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
10	インフルエンザ	59	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	39	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	12	男	中央東	Influenza virus B/Yamagata
10	インフルエンザ	23	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	ヘルパンギーナ	1	女	須崎	Coxsackievirus A10
9	感染性胃腸炎	3	男	中央東	Astrovirus NT
9	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Coxsackievirus A9
9	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Rotavirus group A G2
9	細気管支炎、熱性痙攣(15~20分)	1	男	中央東	Respiratory syncytial virus B

★全数把握感染症

第10週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	21	80歳代女	須崎
		1	22	60歳代男	高知市
		1	23	60歳代男	幡多
5類	急性脳炎	1	1	10歳代女	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ86例 A型17例 B型60例 症状から診断9例 ロタウイルス胃腸炎17例 (0歳、1歳4人、2歳3人、3歳3人、4歳4人、7歳、8歳)
	おひさまこどもクリニック	急性耳下腺炎2例 (いずれもムンプスIgM、IgG共に陰性)
	高知大学医学部附属病院小児科	ロタウイルス胃腸炎1例 (1歳男)
	野市中央病院小児科	インフルエンザA型2例 B型20例
	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染性胃腸炎16例 (1歳4人、2歳7人、3歳2人、9歳、10歳、15歳) 某保育園で流行中 アデノウイルス感染症1例 (1歳) マイコプラズマ肺炎1例 (2歳) インフルエンザ30例 A型23例、B型7例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎1例 (6歳男) ロタウイルス腸炎7例 (1歳男2人、1歳女、4歳女、5歳女、6歳男、7歳女) 百日咳1例 (9歳男; PT-IgG160EU/ml以上)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ・溶連菌感染症同時感染7例 (6歳男、7歳女、8歳男2人、10歳男女、33歳女) インフルエンザA型20例 インフルエンザB型31例 予防接種歴あり1例 溶連菌感染症24例 RSウイルス感染症1例 (2歳女)
	細木病院小児科	ロタ16例 (9ヶ月女2人、1歳男6人、1歳女、2歳女、3歳男2人、4歳男女、5歳女2人)
	三愛病院小児科	帯状疱疹1例 (10歳男)
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症2例 (2歳女、4歳女) ロタウイルス感染症5例 (1歳男2人、2歳男女、8歳男) ヒトメタニューモウイルス1例 (1歳女) 病原性大腸菌5例 (0ヶ月女、1ヶ月男女、2ヶ月女2人)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例 (2歳男: いの町) ロタウイルス胃腸炎21例
須崎	もりはた小児科	ヒトメタニューモ肺炎1例 (3歳女) マイコプラズマ肺炎1例 (8歳女)
		インフルエンザ56例 A型34例 B型22例
		インフルエンザ56例 A型22例 B型34例
幡多	さたけ小児科	インフルエンザ56例 A型22例 B型34例

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●厚生労働省 ジカウイルス感染症を疑う症例の要件について（平成28年2月24日）

ジカウイルス感染症の検査や診断をよりの確に実施するため、現時点でのジカウイルス感染症を疑う症例の要件

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000113709.pdf>

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年2月16日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年3月13日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）（ジカウイルス感染症に関するQ&A、流行地域など）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

★全国情報

第8週（2月22日～2月28日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核340例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症13例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎5例、ジカウイルス感染症1例、デング熱1例、レジオネラ症16例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症22例、急性脳炎19例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群17例、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症44例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒52例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例、風しん2例、麻しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎3例、エキノコックス症3例、重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎19例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒27例、播種性クリプトコックス症1例、風しん2例

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第10週 平成28年3月7日(月)～平成28年3月13日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第10週					計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/3/13	
インフルエンザ	インフルエンザ		59	556	686	206	117	320	1,944 (40.50)	2,372 (49.42)	174,970 (35.35)	10,501 (218.77)	1,104,265 (222.99)
小児科	咽頭結膜熱			1				1	2 (0.07)	2 (0.07)	938 (0.30)	24 (0.80)	10,823 (3.43)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			13	44	7	2	12	78 (2.60)	86 (2.87)	9,435 (2.99)	799 (26.63)	86,406 (27.36)
	感染性胃腸炎		5	83	79	13	21	16	217 (7.23)	180 (6.00)	20,470 (6.49)	2,171 (72.37)	205,699 (65.14)
	水痘				5			1	7 (0.23)	5 (0.17)	1,090 (0.35)	76 (2.53)	12,819 (4.06)
	手足口病								()	()	93 (0.03)	7 (0.23)	1,029 (0.33)
	伝染性紅斑		1	2	2	1	1		7 (0.23)	6 (0.20)	1,554 (0.49)	66 (2.20)	17,905 (5.67)
	突発性発疹			2	2	3		1	8 (0.27)	10 (0.33)	1,089 (0.35)	89 (2.97)	10,842 (3.43)
	百日咳				1				1 (0.03)	2 (0.07)	29 (0.01)	17 (0.57)	355 (0.11)
	ヘルパンギーナ								()	()	45 (0.01)	2 (0.07)	405 (0.13)
	流行性耳下腺炎				8	2	1	1	12 (0.40)	16 (0.53)	2,482 (0.79)	176 (5.87)	23,773 (7.53)
RSウイルス感染症		1	3	18				2	24 (0.80)	36 (1.20)	980 (0.31)	419 (13.97)	16,250 (5.15)
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	6 (0.01)	()	63 (0.09)
	流行性角結膜炎								()	()	374 (0.55)	3 (1.00)	4,238 (6.16)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	11 (0.02)	()	74 (0.16)
	無菌性髄膜炎								()	()	18 (0.04)	2 (0.25)	147 (0.31)
	マイコプラズマ肺炎				3				3 (0.38)	1 (0.13)	208 (0.44)	50 (6.25)	2,528 (5.34)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 (0.13)	1 (0.13)	13 (0.03)	18 (2.25)	91 (0.19)
	感染性胃腸炎			2	21				23 (2.88)	13 (1.63)	269 (0.57)	115 (14.38)	1,459 (3.08)
計(小児科定点当たり人数)		66 (18.25)	662 (65.42)	870 (57.33)	232 (49.86)	143 (42.25)	354 (46.80)	2,327 (52.36)		214,074	14,535 (346.98)	1,499,171	
前週(小児科定点当たり人数)		98 (26.25)	625 (61.17)	1,009 (66.54)	309 (65.14)	194 (53.75)	495 (65.78)		2,717 (60.86)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第10週					計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/3/13	
インフルエンザ	インフルエンザ		14.75	50.55	42.88	41.20	29.25	40.00	40.50	49.42	35.35	218.77	222.99
小児科	咽頭結膜熱			0.14				0.20	0.07	0.07	0.30	0.80	3.43
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.86	4.00	2.33	1.00	2.40	2.60	2.87	2.99	26.63	27.36
	感染性胃腸炎		2.50	11.86	7.18	4.33	10.50	3.20	7.23	6.00	6.49	72.37	65.14
	水痘				0.45			0.20	0.23	0.17	0.35	2.53	4.06
	手足口病									0.03	0.23	0.33	
	伝染性紅斑		0.50	0.29	0.18	0.33	0.50		0.23	0.20	0.49	2.20	5.67
	突発性発疹			0.29	0.18	1.00		0.20	0.27	0.33	0.35	2.97	3.43
	百日咳				0.09				0.03	0.07	0.01	0.57	0.11
	ヘルパンギーナ										0.01	0.07	0.13
	流行性耳下腺炎				0.73	0.67	0.50	0.20	0.40	0.53	0.79	5.87	7.53
RSウイルス感染症		0.50	0.43	1.64			0.40	0.80	1.20	0.31	13.97	5.15	
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.09	
	流行性角結膜炎									0.55	1.00	6.16	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02		0.16	
	無菌性髄膜炎									0.04	0.25	0.31	
	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38	0.13	0.44	6.25	5.34
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13	0.13	0.03	2.25	0.19
	感染性胃腸炎			2.00	4.20				2.88	1.63	0.57	14.38	3.08
計(小児科定点当たり人数)		18.25	65.42	57.33	49.86	42.25	46.80	52.36			346.98		
前週(小児科定点当たり人数)		26.25	61.17	66.54	65.14	53.75	65.78		60.86				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
 TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869